



ともに伸びる

【学校教育目標】 『心豊かに ともに伸びる』

学校は「楽しい」ところ、学校は「学ぶ」ところ、学校は「鍛える」ところ

汗！ 涙！ 笑顔！ 感動！



10月4日（日）、第51回
体育大会が実施されました。

10月の開催ということもあり、
気温もそれほど高くなく、
熱中症の心配もほとんどありま
せんでした。今年は新型コロナ
ウィルスの影響で、5月から
10月に延期をしました。生徒
たちは4月から体育大会に向け
てのモチベーションを上げていた時に臨時
休校となり、気持ちを1度リセットしなけ
ればなりませんでした。

そして9月23日（水）の結団式から再度
体育大会モードに入り、練習や準備を重ねて
きました。やはり1度切れた気持ちを持ち直
すことは難しく、その準備はなかなか計画通
りにはいかない面もあったようです。それで
も何とか3年生のリーダーシップのもと各ブ
ロックがまとまり、素晴らしい仕上がりを見
せてくれました。

結果は総合優勝、応援合戦、パネルと赤ブロックの総取りという形になりました。
悔し涙をのんだ青ブロックですが、自分たちの役割をしっかりと自覚し、計画的に準備
を進めながら団結力を高めたという点では、赤ブロックを凌いでいたかもしれません。



《実行委員長の挨拶》



《選手宣誓》



《1年団体 おお！たまRUN》

4人一組で大玉を運ぶレースです。抜きつ抜かれつの接戦を制したのは、2組
(青)。2位が1組(赤)でした。

どちらにしても生徒たちにとって、素晴らしい経験ができたことは間違いありません。まさに、『英雄豪傑』～信じて闘え！一瞬を永遠に！～というスローガンを体現することができました。



《3年団体 竹取物語》

恒例種目の「百足リレー」に代わる新種目。スピードとパワーだけではなく、得点の高い竹を取るための戦術も結果を左右しました。勝ったのは、2組（青）の29点。負けた1組の点数は27点で、大接戦でした。



《2年団体 君の縄～our rope～》

ソーシャルディスタンスを取りながらの大縄跳び。とても難しそうでした。結果は1位が2組（赤）で113回、2位が1組（青）で54回でした。



《応援合戦》

体育大会のメインイベントの応援合戦。両ブロックとも趣向を凝らした演技を披露しました。今年は、団員の隊形や声の出し方まで制限が課せられたことで、演技内容もかなり苦労して作りました。特に人数が多く迫力を出せるはずの青ブロックは、制限を受けたことで、そのアドバンテージを生かせなかったのかもしれませんが、最優秀賞は赤ブロックでした。

下は実行委員長筒井心音さんの感想です。
最もきつい仕事をしてくれた心音さん。大きな責任を果たした後の言葉は、周りの人たちに対する『感謝』でした。本当に素晴らしい活躍でした。お疲れ様でした。

私は実行委員長に応援団長と大きな役を2つもいただき、最初は自分がこんなことができるのかと不安とあせりでいっぱいでした。でもやるしかない！という思いで毎日頑張りました。実行委員長の仕事をしている時は応援の方を他の人にまかせ、応援の方についている時は実行委員の仕事をかせるなど、たくさんの人、友達、先生方に迷惑をかけることが多かったです。でも、私が2つの役をやりとげられるように、周りの友達や先生方、実行委員のメンバー、応援リーダーの皆が協力してくれて、本当にありがたかったです。私がここまでやりとげられたのは周りの人の協力や支えがあったおかげだと思います。今年の体育大会は、これまでと違う形だったけど、本当に最高の体育大会でした。全校をまとめ、動かす大変さ、協力することの大切さ、大きな仕事をやりとげた後の大きな達成感、たくさんのことを味わえた中身の濃い体育大会になりました。